

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和4年度第13回政策会議
開催日	2023年(令和5年)1月4日(水)9:01~9:08
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、和田副市長、宮治副市長、岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会事務局長(欠席)、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
内 容	1 開会 2 市長、副市長、教育長あいさつ 鈴木市長 ○先程事務始め式でも挨拶させていただいたが改めて、一年間よろしくお願ひしたい。政策会議のメンバーには各部局のリーダーとして、一丸となり市政運営にあたってほしい。 和田副市長 ○年末年始はとても良い天気が続いたが、市政もこうした晴れ晴れとした状況が続くよう取り組んでいきたいと思う。一年間よろしくお願ひしたい。 宮治副市長 ○今年は関東大震災からちょうど100年目、東日本大震災から12年目の節目の年であるので、災害に強いまちづくりに一層力を入れていきたい。また、北部環境事業所の新2号炉が完成し、南北の収集事務所が統合され、ごみ収集の区域分けが変更するなど、環境行政が転換点を迎える。さらに藤沢駅・村岡新駅のまちづくりが本格的にスタートし、鶴沼のスケートパークもリニューアルされるなど、大きな変化の年となる。先程の事務始め式で市長も仰っていたとおり、変化に敏感になり、「うさぎの耳」で色々な情報を集めてほしい。一年間よろしくお願ひしたい。 岩本教育長 ○今朝行われた教育委員会の事務初め式において、今年の覚悟について話をした。世の中がコロナ禍から急速に元の姿に戻りつつあるが、一方で学校の対応の遅れが指摘されている。12月議会でも多くのご質問をいただいたが、大切な子どもの命を預かる学校の立場をしっかりと説明し、ご理解いただくことが求められる。また、最近になって事件や事故が相次いでおり、社会の不安定さが露呈して

<p>内 容</p>	<p>いる。大人が不安定になると家庭が不安定になり、家庭が不安定になると、子どもが不安定になる。それが子どものいじめや不登校、非行につながり、学校教育に厳しい目が向けられることになる。このようなことを覚悟する1年になるので、頑張っていかなければならない。これについては、これまで大人の仕事を支えてきた保育園や学童保育など、子ども青少年部の皆さんも同じ気持ちだと思う。保健所や医療機関のご苦勞は3年以上にわたって続けているが、世間から忘れ去られているような印象も受ける。コロナ禍を乗り切るために、引き続き頑張っていかなければならないと、思いを新たにしたところである。今年もよろしく願いたい。</p> <p>3 その他</p> <p>○現在の新型コロナウイルス感染症の状況をご報告する。市内のコロナの感染状況については、現在ステージ1となっており、健康医療部を中心に対応している。年末にかけては1日当たりの感染者届出数が100件を超える水準に近づき、1週当たりの届出数700件以上を基準とするステージ2に入ることが想定されたが、踏みとどまった。しかし、これは医療機関が休み入ったことによる届出件数の減少が影響しているものと思われる。今後、医療機関が届出を再開し、会社や学校が始まれば、ステージ2に入るのではないかと想定している。加えて、インフルエンザとの並行流行も注視していかなければならない状況であり、改めて様々な形で市内の皆さんに協力を依頼することになると思うので、よろしく願いたい。</p> <p>4 閉会</p>
------------	--